

■中南米：エネルギー、中南米事業を拡大

イタリアのエネルギー大手エネルは 2015 年 3 月 19 日、2015～2019 年の事業戦略を発表した。その中で、海外事業投資額の 49%を中南米地域向けにしているとしている。再エネ分野への投資額の 53%を中南米向けとし、ブラジル、チリ、メキシコでの事業を中心に進めるとしている。2014 年末時点で、エネルグループが保有する発電設備容量 8,600 万 kW の 18%に当たる 1,510 万 kW が中南米地域にある。同地域には、2014 年末時点で再生可能エネルギーによる発電設備容量は約 170 万 kW あり、近く運開が予定されているものが 100 万 kW、建設中・計画中のものが 1,240 万 kW ある。エネルは中南米地域の事業を進めるため、再生可能エネルギー事業についてはチリの首都サンティアゴに子会社エネル・グリーンパワー、発送配電事業とガス事業についてはは持株会社エネルシス（本社在地はチリ）をそれぞれ拠点として事業を展開している。